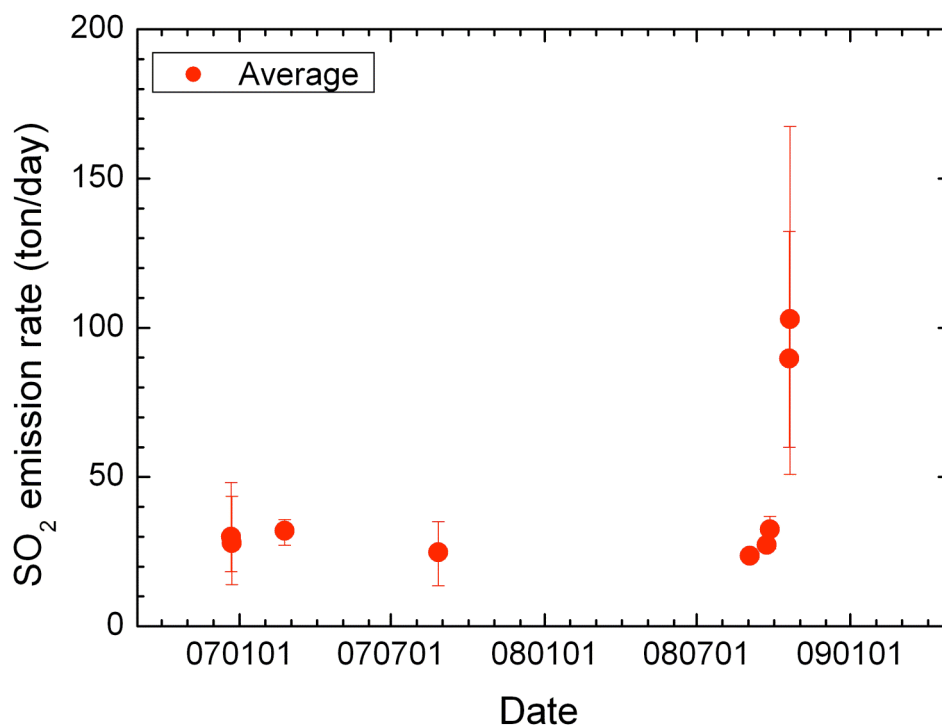


口永良部島における二酸化硫黄放出量の計測

口永良部島において、2008年10月20～21日にCOMPUSSを用いた二酸化硫黄放出量の計測を行った。その結果、前回(9/27)の約3倍に相当する90～100 ton/dayの二酸化硫黄放出量が観測された(図1)。



また、離島日(22日)には計測日(20, 21日)よりも多い噴煙量が視認された。火山ガス放出量の増加がさらに続いている可能性がある(写真1)。

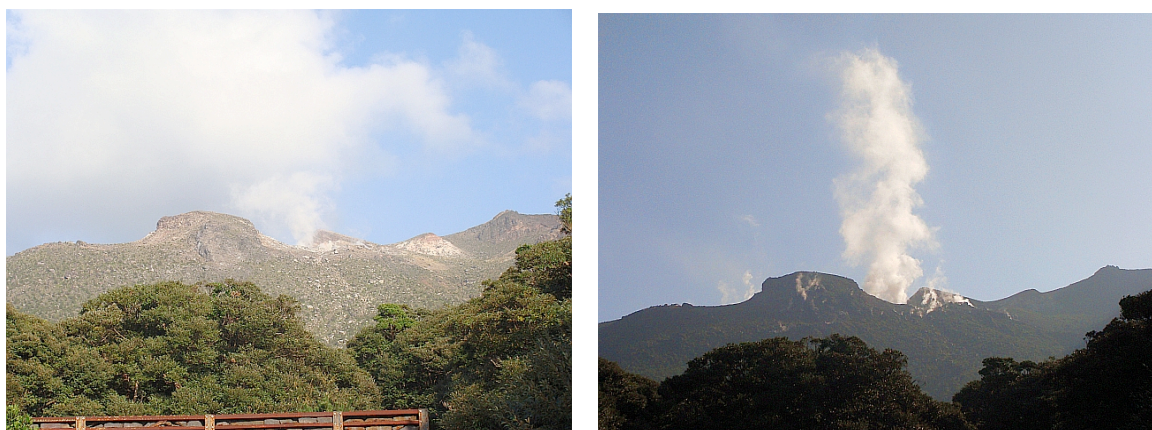


写真1 新岳火口の西南西約1500mに位置する、砂防ダムから撮影した新岳火口の様子。左は2008年10月20日15:56撮影、右は2008年10月22日08:57撮影。